

海上公園とは

かつて、東京の海は豊富な魚介類に恵まれ、水遊びや釣りなどが楽しめる憩いの場であり、人々の日常生活と深いつながりのある空間でした。

しかし、昭和30年代からの高度経済成長に伴い、大規模な埋め立てが進み、工場が立地し、港の拡張が続けられた結果、生活の場としての「東京の海」は忘れられ、都民は身近に海にふれあう場を失ってしまいました。

そこで、かつて都民生活に海が果たしてきた役割をあらためて見直し、都民が海や自然とふれあい、スポーツやレクリエーションを楽しめる場として、東京の埋立地に公園を整備していくことになりました。これらの公園のことを「海上公園」と呼んでいます。

「海上公園」は次の3つの種類に分けられます。

海浜公園

水域における自然環境の保全及び回復を図るとともに、水に親しむ場所として都民の利用に供することを目的とした公園



◆葛西海浜公園

ふ頭公園

ふ頭内の環境の整備を図るとともに、みなとの景観に親しむ場所として都民の利用に供することを目的とした公園



◆みなとが丘ふ頭公園

緑道公園

臨海地域における自然環境の回復を図るとともに、緑に親しむ場所として都民の利用に供し、あわせて海上公園の一体的な利用を促進することを目的とした公園



◆辰巳の森緑道公園

海の森

東京2020オリンピック・パラリンピック後の開園に向けて、事業を進めています。

海の森とは

東京港の玄関口にあたる中央防波堤内側埋立地の一部（ごみと建設発生土の埋立地）を緑あふれる森に生まれ変わらせ、水と緑に包まれた美しいまち「東京」を実現していく事業です。面積は約149ヘクタール（うち水域54ヘクタール）、「NOT FOR US, BUT FOR OUR CHILDREN. あなたのための森ではない。あなたの子どものための海の森。」をスローガンに約30年かけて森をつくり、育てていきます。

2つの特徴

- 資源循環型の森づくり 23区内の公園や街路樹の剪定枝葉から堆肥をつくり、建設発生土に混合して土づくりを行うなど、リサイクルの視点を大切に、資源循環型の森づくりに取り組んできました。
- 市民参加による協働の森づくり 苗木づくりから植樹までを都民や企業との協働で行う市民参加型プロジェクトを実施してきました。（平成27年秋で植樹は終了）今後は草刈や間伐などの森の育成に移行し、森づくりを継続していく予定です。

協働による森づくり



23区内の公園や街路樹の管理作業で発生する剪定枝葉を原料として、海の森の植栽基盤に必要な堆肥を製造しています。これにより資源の有効利用や経費の節減を図っています。

募金による苗木

ドングリからの苗木づくり

募金・苗木づくりの募集及び公募による植樹はすべて終了しました。ご協力ありがとうございました。



東京都海の森倶楽部

海の森事業にご賛同いただく企業等が会員となる倶楽部。会員主催の多様で魅力的なイベントが実施され、多くの皆さまに海の森をご紹介、お越しいただいております。



中央防波堤内側埋立地
※現在は整備中のため
立入ることはできません。

海の森に関するお問い合わせ

☎ 03-5320-5590 <http://www.kouwan.metro.tokyo.jp/kanko/uminomori/>